

学外研修報告

共通機器部門放射線管理技術班 寺元浩昭

平成 30 年度放射線安全取扱部会年次大会（第 59 回放射線管理研修会）参加報告

1.目的

この大会（研修会）では放射線の規制や管理、放射線利用に関する最新の話題に関する講演等が行われる。昨年度から今年度にかけて放射線規制に関する法令が改正され、施行が来年に迫っており、これから様々な対応を行っていく必要があり、情報収集、意見交換等を行うため参加した。

2.期間・場所

期間：平成 30 年 10 月 25 日（木）～10 月 26 日（金）

場所：仙台銀行ホール イズミティ 21（宮城県仙台市）

3.参加者等

全国の放射線施設管理者、放射線取扱主任者等 300 名程度

4.研修内容

・口頭発表 45 題

・特別講演「放射線障害防止法関係の最近の動向」原子力規制庁、鶴園孝夫氏

「東日本大震災の教訓と巨大災害への備え」東北大学、越村俊一氏

「スマート・エイジング～脳を鍛えて健康寿命を延伸する～」

東北大学、川島隆太氏

・シンポジウム「新しい放射線安全管理のフレームワークに向けて」

「～平成を振り返る～福島原発事故から7年以上経過した福島の今」

「加速器の歩み：最初の一步から次の時代に向けて」

・ポスター発表 33 題

5.まとめと感想

今年度の大会では、施行が迫りつつある放射線障害防止法に関して、原子力規制庁の鶴園氏より改正された箇所や手続、測定、記帳・記録の留意点などについて講演があり、大変参考になった。

また、シンポジウム I では法令の改正、人口減少や利用者の減少により様々な変化が起こりつつある放射線管理の在り方について、いくつかの話題があげられ、質疑、議論等が行われた。

このほか、二件ずつの特別講演、シンポジウムが行われ、とても興味深く聴講した。

さらにポスター発表、機器展示等、日々の管理に密接した内容なども多くあり、有意義な会であった。